

進路だより

平成31年4月23日
第1号
発行 進路担当

中3 義務教育最後の学年です。 ～卒業後の進路を考える～

「将来の夢は?」「将来どんな仕事がしたいの?」と聞かれたらどう答えますか?「看護師になりたい。」「サッカー選手になりたい。」「世界を飛び回るビジネスマンになりたい」。小さい時から思い描いている夢もありますね。



夢や希望や目標をどうやって叶え、達成していくのか、そのために、今何をすれば良いのかを大切に考えていくことが「**進路を考える**」ことだと思います。夢や目標がいくら大きくても「そんなこと自分には絶対に無理」「実現不可能や」とあきらめないでください。がむしゃらに前を向いて目標達成のために頑張る事は若さの象徴だし、そこで頑張った事は将来生きていく上での財産になります。努力する前に否定的な結論を出さないで、まず前向きに行動に移しましょう。

一方で「まだ何も考えていない。」「まだわからない。」という人も少なからずいると思います。しかしいずれ君たちは、何かしらの職業に就き、社会の中で自立をして生きていかなければなりません。あと1年足らずで義務教育を終え社会へと出て行く人もいます。「とりあえず高校に進学する」のではなく「なぜ高校に進学するのか」「高校で何をするのか」・・・今からしっかり考え、卒業後新しい進路先に目標を持って胸を弾ませて行ってほしいと思います。

■中学校卒業後の進路は、就職あるいは高等学校・専修学校・各種学校・高等職業技術専門学校（テクノセンター）などへの進学と就職の道があります。できるだけたくさんの情報を集め、自分自身の目で確かめ、保護者の方や先生方と相談しながら時間をかけ、労を惜しまず自分が納得できる進路を決めていってください。

みなさん一人ひとり将来の夢や目的、個性に違いがあるので学年121人121通りの進路があると思います。



■進路に関する情報は、南校舎3階掲示板に掲示したり「進路だより」を通してできるだけ多く提供します。各学校の説明会やオープンスクールにどんどん参加して自分に一番あった進路を見つけてください。

進路（高校）選択について 各高校がいろいろな特色やコースをつくり個性化や多様化も打ち出してきています。それらの中から自分に合った高校を選ぶのは大変手間のかかることです。今から2学期にかけてたくさんの高校見学や説明会、体験入学の案内があります。特に私学には、スポーツ推薦や一芸一能推薦入試等もあります。特に推薦希望者は、一度説明会等の際に高校の担当者に相談するのも良いでしょう。自分自身が納得できるようにじっくりと時間をかけて調べ、自分が成長できたり自分の夢や目的が実現できたりする高校を見つけることが大切です。

学校生活について 中学校最後の行事の体育祭や文化祭、修学旅行に向けてみんなで力を合わせ思い出をたくさん作りましょう。また同時に希望校に進学するための力を付ける必要があります。入試問題を見ても、三年生で勉強する内容もたくさん出ています。学校の授業時間を大切にしながら、家での勉強は、一、二年生の勉強の総復習もしなければなりません。そこで、授業中の学習はすべて、その授業時間で吸収してしまうぐらいの気持ちが必要です。

また、四教科（音楽・美術・技術家庭・保健体育）については、授業時間が勝負です。作品をしっかりと作る、実技は手を抜かずに頑張る等々、とにかくしっかりとやらなければいけません。「受験」のための準備は決して特別なものではなく日々の学習態度や忘れ物をしないなど日常の生活を大切にすることから始まります。

最後に 期日が迫ってからドタバタするのではなく、何事も余裕を持って早め早めに取り組んで下さい。特に資料や書類の提出は期限をしっかりと守ってください。対外的なやりとりが多くなるので、手続きができずに取り返しのつかないことになったり、友達に迷惑をかけたりにすることにもなるので十分注意してください。

やり方がわからなかったり、困ったときは一人で抱え込まないで担任の先生や保護者の方といろいろ相談しましょう。

